

地域の皆様へ

横浜市は旧上瀬谷通信施設（米軍施設跡地）への 国際園芸博覧会の招致を進めています。

国際園芸博覧会とは？

国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に開催される博覧会です。

本市が目指しているのは、国家的なプロジェクトとなるA1（最高クラス）の国際園芸博覧会です。A1の国際園芸博覧会は国内では、1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会（花の万博）」があります。



（資料提供：公益財団法人
国際花と緑の博覧会記念協会より）

国際園芸博覧会の基本的事項（旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会 基本構想案より抜粋）

テーマ

“幸せを創る明日の風景”～Scenery of The Future for Happiness～

咲き誇る花々や濃い緑、農の収穫と食の豊かさ、人々の多彩な交流等、横浜・上瀬谷にしかない時間・空間・価値を世界と共有します。

開催場所

旧上瀬谷通信施設

（横浜市旭区・瀬谷区）

開催時期

2026年（最速）

会場規模

80～100 ha（想定）

入場者規模

1,500万人以上（想定）

開催組織

国が認定する法人等



航空写真
（旧上瀬谷通信施設：約242ha）

横浜市



● 国際園芸博覧会を開催すると ●

- 地球環境を継承する具体的な実践・取組を発信し、国連SDG s (持続可能な開発目標)の課題解決に貢献します。
- 世界中の花や緑、日本の華道や庭園等の芸術文化に触れる機会を契機に、全ての生物の生存基盤である**自然への理解と行動を促進**します。
- 国際都市横浜の多様な魅力を世界に発信し、**地域経済の活性化**や**都市ブランド**等のさらなる**向上**をけん引します。
- 市民や企業の皆様の幅広い参画を得ることを通して、**個人の関心や技能によるつながり**と**地域によるつながり**を組み合わせ、成熟社会における**コミュニティの形成**を推進します。
- 将来の土地利用に必要な**インフラ整備が進む**とともに、**地域の知名度やイメージが向上**し、郊外部における新たな活性化拠点としての**まちづくりが促進**されることが期待できます。



(資料提供：公益財団法人
国際花と緑の博覧会記念協会より)



● 旧上瀬谷通信施設とは ●

- 横浜のみならず首都圏でも貴重な**広大な土地 (約242ha)** であり、**農業振興**と**新たな土地利用**による郊外部の再生に資する新たな**活性化拠点**を目指しています。
- 米軍施設として約70年間土地利用を制限されてきたため、道路や上下水道など**インフラが未整備**となっています。
- 平成27年6月の返還後、土地利用についての検討を重ねており、現在は、民有地の地権者の方々による「**旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会**」と話し合いながら、市による土地区画整理事業の実施を前提に検討を進めています。

● これまでの取組 ●

2017.6	「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会招致検討委員会」設立
2018.3	市としての「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想案」策定
2018.6 2018.11	市から国に開催の検討を要請

今後も、引き続き皆様への情報提供を行ってまいります。

詳しくは、

横浜市 国際園芸博覧会



お問い合わせ：横浜市役所政策局国際園芸博覧会招致推進室

電話 045-671-4626 メール ss-engeihaku@city.yokohama.jp